

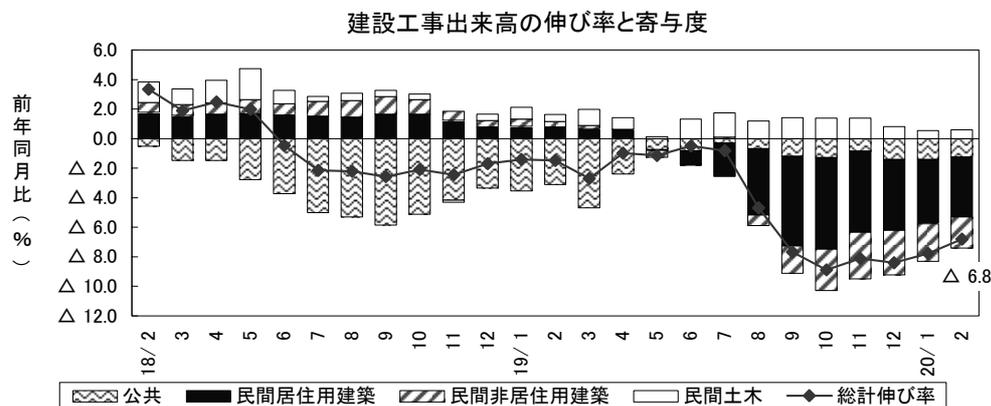
1. 建設投資の概況

(1) 建設工事出来高

2月の建設工事出来高は、全体で4兆534億円と前年同月比6.8%減少した。

公共は、建築が1,925億円（前年同月比3.6%増）、土木が1兆3,605億円（同4.3%減）となり、全体では1兆5,530億円（同3.4%減）となった。

民間は、建築が1兆9,494億円（前年同月比12.1%減）、土木が5,510億円（同5.1%増）となり、全体では2兆5,004億円（同8.8%減）となった。



(単位：億円)

区分 年度年月		総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
年	16年度	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	56,357	203,170
	17	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	59,934	197,376
	18	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	63,665	175,608
年	17年	532,507	333,841	275,533	186,321	89,212	58,307	198,666
	18	531,392	350,651	288,068	194,400	93,669	62,582	180,741
	19	509,301	338,004	269,815	181,476	88,339	68,189	171,297
月	19年11月	45,434	27,894	21,657	14,842	6,814	6,238	17,540
	12	47,106	28,381	22,082	15,287	6,795	6,299	18,725
	20年1月	37,573	22,693	17,751	12,136	5,615	4,943	14,880
次	2	40,534	25,004	19,494	13,142	6,352	5,510	15,530

(前年比・%)

年	16年度	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
	17	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
	18	△ 1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△ 11.0
年	17年	△ 0.1	3.2	3.5	0.7	9.9	2.0	△ 5.3
	18	△ 0.2	5.0	4.5	4.3	5.0	7.3	△ 9.0
	19	△ 4.2	△ 3.6	△ 6.3	△ 6.6	△ 5.7	9.0	△ 5.2
月	19年2月	△ 1.5	2.7	2.3	2.4	2.1	4.3	△ 7.9
	3	△ 2.7	3.3	1.9	2.2	1.2	8.5	△ 11.6
	4	△ 1.0	2.2	1.2	1.7	0.1	6.5	△ 7.0
	5	△ 1.1	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.1	△ 2.3	1.0	△ 2.8
	6	△ 0.5	0.5	△ 1.6	△ 2.3	△ 0.3	10.6	△ 3.1
	7	△ 0.8	△ 0.7	△ 3.6	△ 5.5	0.5	13.4	△ 1.1
	8	△ 4.7	△ 5.7	△ 8.8	△ 11.2	△ 3.7	10.3	△ 2.3
	9	△ 7.7	△ 9.5	△ 14.0	△ 15.8	△ 10.0	12.3	△ 3.8
	10	△ 8.9	△ 11.6	△ 16.6	△ 16.9	△ 15.8	12.4	△ 3.7
	11	△ 8.1	△ 11.4	△ 16.5	△ 15.4	△ 18.7	12.5	△ 2.3
	12	△ 8.4	△ 11.2	△ 15.4	△ 13.9	△ 18.6	7.1	△ 3.7
	次	20年1月	△ 7.8	△ 10.3	△ 13.7	△ 12.8	△ 15.7	4.7
	2	△ 6.8	△ 8.8	△ 12.1	△ 11.8	△ 12.7	5.1	△ 3.4
累計	4月～2月	△ 5.3	△ 6.3	△ 9.5	△ 9.7	△ 9.0	8.8	△ 3.4

資料：国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

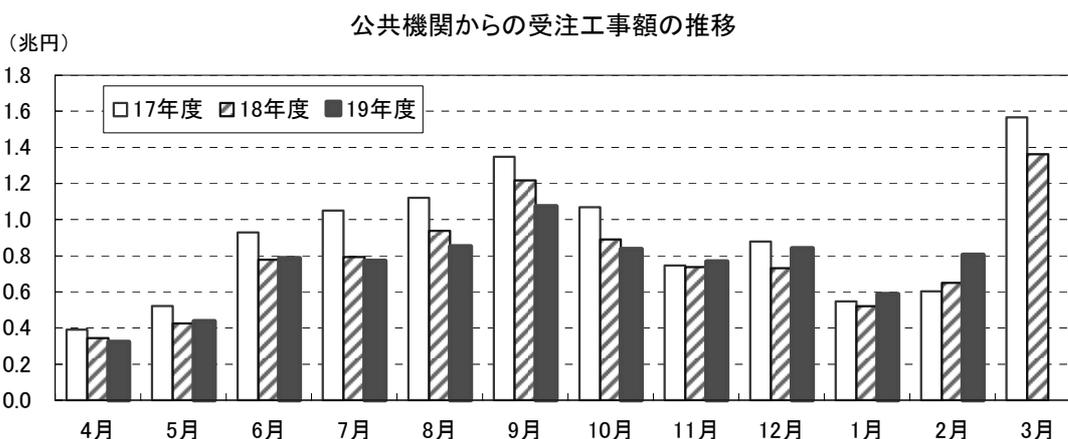
(2) 公共機関からの受注工事

2月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は8,054億円で、前年同月比24.0%増加（4ヶ月連続）した。うち国の機関からは4,994億円で同46.8%増加（5ヶ月連続）、地方の機関からは3,060億円で同1.0%減少（3ヶ月ぶり）した。

工事分類別でみると、道路（前年同月比35.1%増、寄与度+13.9）、鉄道・軌道（同757.9%増、寄与度+9.8）等が増加し、住宅・宿舍（同49.8%減、寄与度-3.0）、再開発（同21.0%減、寄与度-0.7）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、国の道路（寄与度+14.0）、国以外の機関の鉄道・軌道（寄与度+9.9）等のプラスの寄与度が大きい。

2月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比45.9%増加（3ヶ月連続）した。

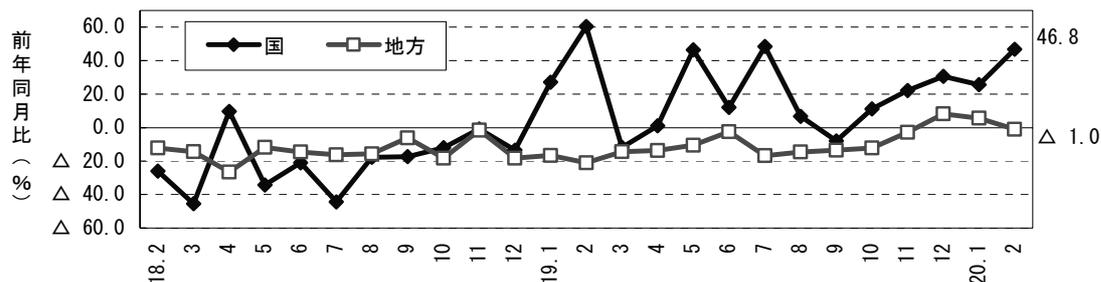


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年度	16年度	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
	17	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
	18	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	△ 18.5	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8
年	17年	2.6	12.6	30.4	△ 8.9	△ 2.5	0.2	△ 6.8	21.8	△ 17.4
	18	△ 18.8	△ 28.6	△ 30.8	△ 24.8	△ 13.0	△ 14.1	△ 15.2	△ 2.1	△ 1.0
	19	△ 3.6	11.3	2.2	25.9	△ 10.8	△ 7.8	△ 10.8	△ 11.7	△ 34.8
月次	19年2月	7.6	60.4	38.1	101.1	△ 21.0	△ 16.4	△ 8.8	△ 61.8	△ 22.5
	3	△ 13.0	△ 11.7	△ 8.2	△ 18.1	△ 14.4	△ 12.3	4.1	△ 35.2	△ 55.2
	4	△ 6.3	1.0	△ 24.5	58.8	△ 13.6	△ 10.8	△ 20.1	△ 19.7	36.0
	5	2.8	46.4	1.7	101.9	△ 10.5	△ 1.6	△ 19.7	△ 13.0	44.4
	6	1.4	12.1	△ 3.9	51.0	△ 2.5	△ 0.4	△ 5.8	48.0	△ 50.8
	7	△ 2.8	48.4	26.9	88.1	△ 16.7	△ 24.8	△ 16.0	33.9	△ 28.3
	8	△ 9.1	6.7	14.3	△ 3.9	△ 14.7	7.8	△ 31.9	2.3	△ 33.3
	9	△ 11.8	△ 8.0	△ 22.4	20.3	△ 13.5	△ 7.0	△ 22.4	14.4	△ 41.2
	10	△ 6.0	11.2	13.0	8.8	△ 12.2	△ 18.7	8.8	△ 25.6	△ 63.9
	11	4.3	22.2	4.8	43.7	△ 2.7	2.5	1.6	△ 35.9	△ 16.4
	12	15.2	30.6	27.8	32.9	8.2	17.9	1.1	5.0	△ 27.2
	20年1月	12.8	25.7	26.9	24.2	5.6	41.6	△ 9.5	△ 49.4	△ 27.0
2	24.0	46.8	56.0	35.4	△ 1.0	△ 0.6	△ 6.2	53.5	△ 34.3	
累計	4月～2月	0.8	20.1	10.1	34.5	△ 7.7	△ 1.6	△ 12.1	△ 1.4	△ 31.8

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
17年度	107,719	35,538	72,181	24,738	129,622	197,376	229,933
18	93,878	31,969	61,909	20,867	122,838	175,608	211,491
19年 I 期	25,334	12,703	12,631	7,935	27,738	49,034	64,705
II	15,477	5,488	9,989	3,445	31,040	33,024	40,536
III	26,981	8,482	18,499	3,998	31,680	36,906	45,089
IV	24,473	8,148	16,326	4,162	28,811	52,333	61,541
19年9月	10,732	3,333	7,399	1,594	11,116	13,910	
10	8,372	2,628	5,745	882	11,742	16,068	
11	7,688	2,552	5,136	1,211	8,685	17,540	
12	8,413	2,968	5,445	2,068	8,384	18,725	
20年1月	5,880	2,357	3,523	1,686	5,907	14,880	
2	8,054	4,994	3,060	3,371	6,535	15,530	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
17年度	△ 10.2	△ 17.5	△ 6.1	△ 17.8	△ 5.6	△ 2.9	△ 4.2
18	△ 12.8	△ 10.0	△ 14.2	△ 15.6	△ 5.2	△ 11.0	△ 8.0
19年 I 期	△ 6.7	5.8	△ 16.7	2.0	7.7	△ 9.5	△ 3.3
II	0.0	15.3	△ 6.7	6.1	△ 0.7	△ 4.6	△ 0.9
III	△ 8.5	9.0	△ 14.8	△ 23.1	△ 7.3	△ 2.5	1.4
IV	3.8	21.2	△ 3.1	△ 7.2	△ 2.9	△ 3.3	△ 0.2
19年2月	7.6	60.4	△ 21.0	34.3	△ 4.6	△ 7.9	
3	△ 13.0	△ 11.7	△ 14.4	△ 13.4	17.1	△ 11.6	
4	△ 6.3	1.0	△ 13.6	△ 12.2	1.5	△ 7.0	
5	2.8	46.4	△ 10.5	51.9	△ 0.4	△ 2.8	
6	1.4	12.1	△ 2.5	△ 1.3	△ 2.9	△ 3.1	
7	△ 2.8	48.4	△ 16.7	△ 2.6	△ 4.0	△ 1.1	
8	△ 9.1	6.7	△ 14.7	△ 20.1	△ 5.1	△ 2.3	
9	△ 11.8	△ 8.0	△ 13.5	△ 34.4	△ 12.1	△ 3.8	
10	△ 6.0	11.2	△ 12.2	△ 38.6	△ 3.2	△ 3.7	
11	4.3	22.2	△ 2.7	△ 15.1	△ 4.3	△ 2.3	
12	15.2	30.6	8.2	27.5	△ 1.1	△ 3.7	
20年1月	12.8	25.7	5.6	36.0	△ 3.5	△ 3.7	
2	24.0	46.8	△ 1.0	45.9	13.1	△ 3.4	
4月~2月	0.8	20.1	△ 7.7	1.1	△ 2.8	△ 3.4	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

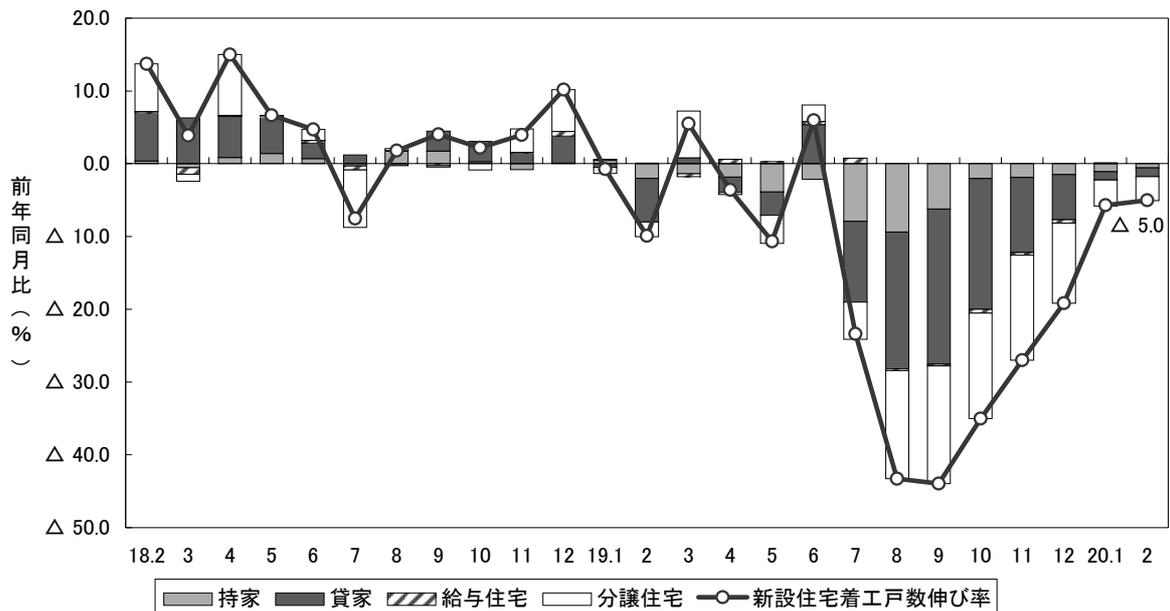
2月の着工は82,962戸。前年同月比でみると、持家、貸家、分譲住宅ともに減少したため、全体で5.0%減少（8ヶ月連続）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成19年1-3月期1,239千戸（前期比6.3%減）、4-6月期1,270千戸（同2.5%増）、7-9月期799千戸（同37.1%減）、10-12月期961千戸（同20.3%増）、平成20年1月1,187千戸（前月比13.0%増）、2月1,150千戸（同3.1%減）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区 分		総戸数	総 計	持 家	貸 家	分 譲 住 宅	マンション	季節調整済 年率換算値
年 度	16年度	1,193,038	1.7	△ 1.6	1.9	4.6	2.5	総戸数 (千戸)
	17	1,249,366	4.7	△ 4.0	10.8	6.1	11.2	
	18	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8	
年	17年	1,236,175	4.0	△ 4.5	8.5	6.8	12.4	—
	18	1,290,391	4.4	1.5	7.8	2.7	4.0	—
	19	1,060,741	△ 17.8	△ 12.2	△ 18.7	△ 22.3	△ 29.2	—
月 次	19年2月	87,360	△ 9.9	△ 7.8	△ 14.6	△ 6.3	△ 6.9	1,211
	3	99,488	5.5	△ 4.8	2.0	22.1	37.3	1,289
	4	107,255	△ 3.6	△ 6.5	△ 5.3	△ 0.9	△ 1.5	1,261
	5	97,076	△ 10.7	△ 12.7	△ 7.8	△ 14.0	△ 20.3	1,146
	6	121,149	6.0	△ 7.1	13.1	8.2	16.2	1,356
	7	81,714	△ 23.4	△ 26.0	△ 25.3	△ 20.6	△ 17.0	960
	8	63,076	△ 43.3	△ 31.0	△ 46.6	△ 52.0	△ 63.2	736
	9	63,018	△ 44.0	△ 21.6	△ 51.3	△ 55.6	△ 74.8	730
	10	76,920	△ 35.0	△ 8.0	△ 40.2	△ 50.2	△ 71.1	857
	11	84,252	△ 27.0	△ 7.6	△ 23.4	△ 47.4	△ 63.9	956
	12	87,214	△ 19.2	△ 6.0	△ 14.4	△ 35.5	△ 49.7	1,050
	20年1月	86,971	△ 5.7	△ 4.2	△ 2.7	△ 11.6	△ 12.0	1,187
2	82,962	△ 5.0	△ 2.1	△ 3.1	△ 9.7	△ 11.9	1,150	
累計	4月～2月	951,607	△ 19.7	△ 12.8	△ 19.7	△ 26.9	△ 35.2	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

2月の着工は22,494戸。北海道及び中部では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比2.1%減少(13ヶ月連続)した。

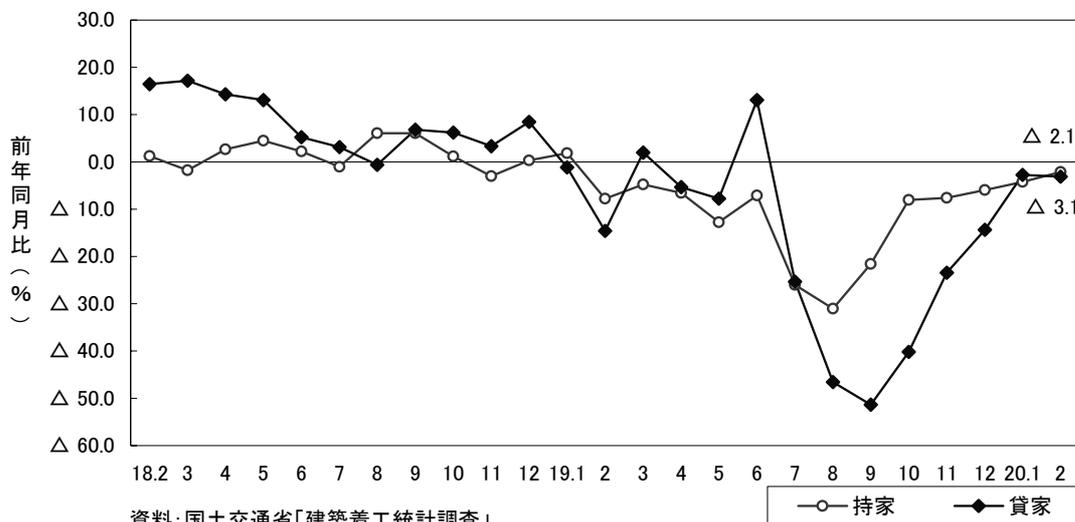
<貸家>

2月の着工は33,063戸。関東、中部、近畿及び四国では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比3.1%減少(8ヶ月連続)した。

<分譲>

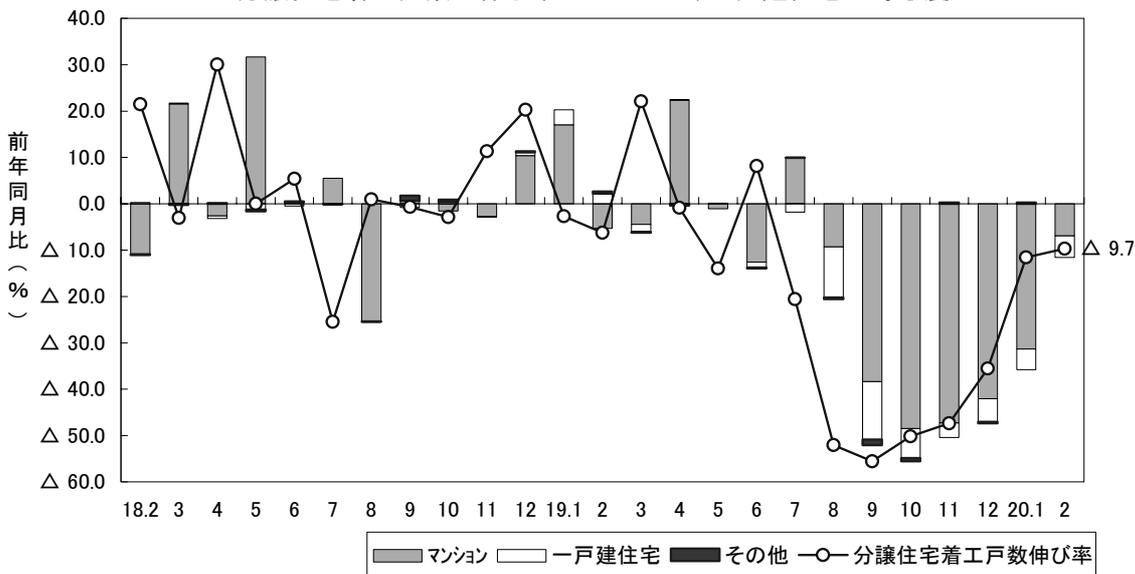
2月の着工は26,757戸。北陸、中部及び四国では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比9.7%減少(8ヶ月連続)した。マンションは16,680戸で、首都圏は増加(9,812戸、前年同月比3.6%増、2ヶ月連続)、中部圏は増加(1,208戸、同116.1%増、7ヶ月ぶり)、近畿圏は減少(3,153戸、同7.3%減、8ヶ月連続)、その他の地域は減少(2,507戸、同54.4%減、10ヶ月連続)し、全体では同11.9%減少(8ヶ月連続)した。一戸建住宅は9,876戸で、同7.1%減少(10ヶ月連続)した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

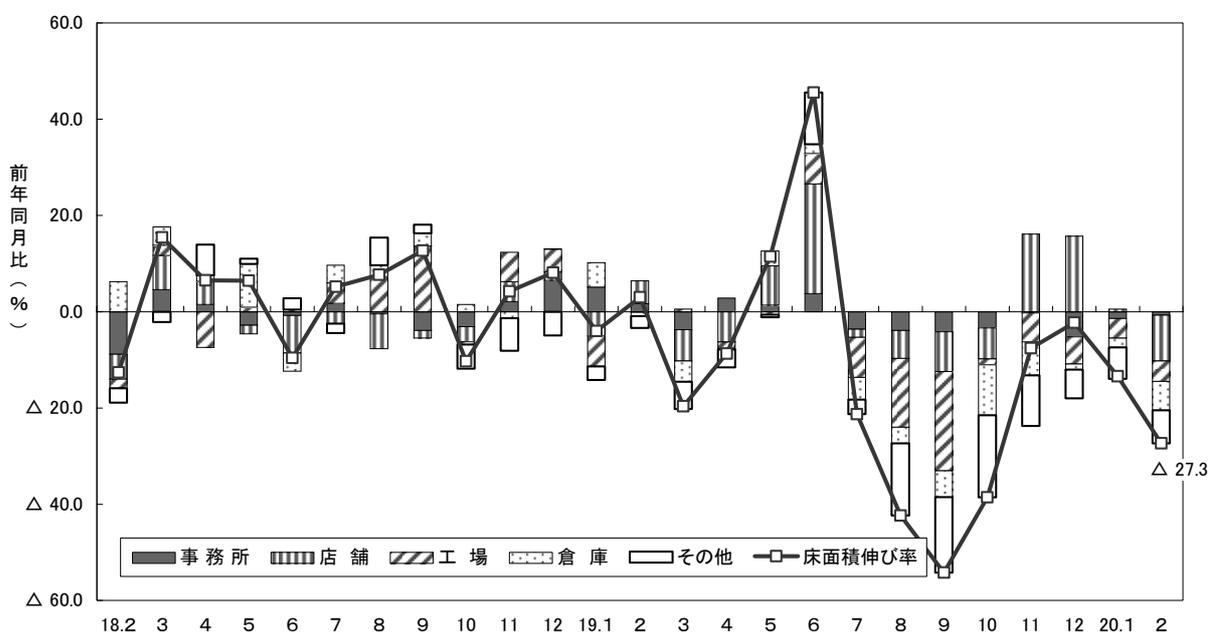
(4) 民間非居住建築

2月の着工床面積は367万㎡で、前年同月比27.3%減少（8ヶ月連続）した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は50万㎡で前年同月比6.7%減少（8ヶ月連続）、店舗は61万㎡で同43.9%減少（4ヶ月ぶり）、工場は88万㎡で同19.5%減少（8ヶ月連続）、倉庫は46万㎡で同40.0%減少（8ヶ月連続）した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」（平成20年3月実施）で平成20年度の設備投資計画をみると、製造業（大企業）は前年度比3.3%減少（平成19年度 前年度比9.5%増加）となり、非製造業（大企業）は同0.6%減少（平成19年度 同5.2%増加）となった。また、全産業（大企業）の生産・営業用設備判断DI（過剰-不足）をみると、「最近」は-2、「先行き」は-1となり、設備過剰感は横ばいとなっている。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年度	16年度	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1
	17	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6
	18	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
年	17年	5.7	13.2	2.3	12.6	7.2	8.7	12.1	10.3	15.0	6.1
	18	2.5	△ 9.2	△ 2.0	11.4	16.1	4.4	△ 13.2	4.9	16.8	22.5
	19	△ 11.6	△ 8.0	13.9	△ 21.0	△ 15.5	△ 10.6	△ 7.8	11.2	△ 17.4	△ 8.1
月次	19年2月	3.0	17.7	27.0	△ 0.6	△ 4.9	2.7	27.4	39.2	△ 20.8	5.5
	3	△ 19.7	△ 27.4	△ 32.8	2.8	△ 28.2	△ 22.5	△ 45.9	△ 16.5	△ 2.5	△ 17.5
	4	△ 8.7	28.3	△ 30.9	△ 6.6	△ 0.5	△ 3.8	23.5	△ 15.0	△ 9.2	0.4
	5	11.4	12.9	58.1	△ 2.7	15.1	9.8	17.7	60.8	△ 9.4	22.9
	6	45.5	38.8	152.3	25.5	12.6	50.1	48.7	147.7	37.5	16.4
	7	△ 21.3	△ 32.7	△ 9.9	△ 34.5	△ 28.7	△ 15.5	△ 37.7	△ 8.4	△ 27.7	△ 22.1
	8	△ 42.4	△ 40.6	△ 46.3	△ 57.1	△ 22.0	△ 39.0	△ 35.2	△ 42.1	△ 57.1	△ 10.7
	9	△ 54.2	△ 48.0	△ 52.7	△ 74.9	△ 42.4	△ 47.5	△ 39.3	△ 47.1	△ 73.0	△ 37.1
	10	△ 38.6	△ 32.1	△ 47.7	△ 5.6	△ 67.4	△ 34.9	△ 19.8	△ 40.6	11.8	△ 68.7
	11	△ 7.6	△ 2.5	82.1	△ 26.9	△ 53.3	△ 13.6	△ 7.0	49.9	△ 6.9	△ 46.8
	12	△ 2.3	△ 38.8	73.8	△ 24.6	△ 10.2	△ 6.5	△ 35.9	26.9	△ 18.6	6.0
	20年1月	△ 13.4	△ 10.9	3.0	△ 21.3	△ 10.9	△ 6.5	△ 5.3	18.2	△ 26.7	△ 0.3
2	△ 27.3	△ 6.7	△ 43.9	△ 19.5	△ 40.0	△ 16.0	17.4	△ 36.6	2.7	△ 35.4	
累計	4月～2月	△ 14.1	△ 12.3	14.3	△ 23.8	△ 20.6	△ 11.4	△ 7.5	12.5	△ 18.7	△ 14.2

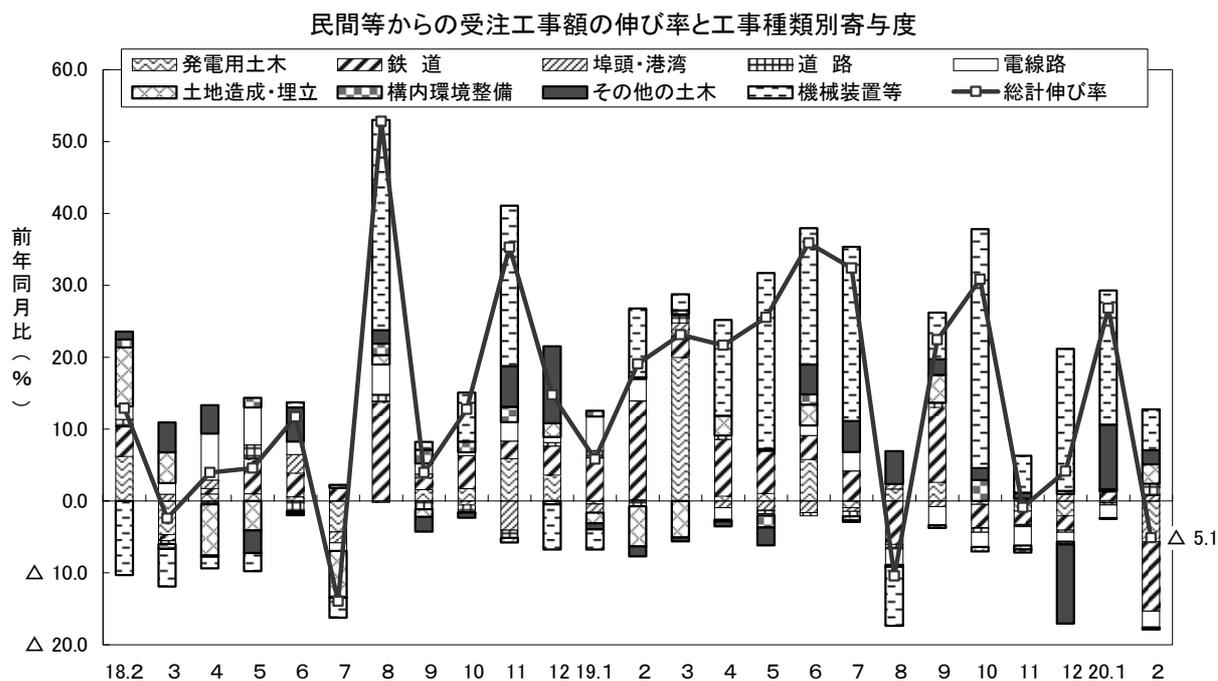
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

2月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,817億円で、前年同月比5.1%減少（3ヶ月ぶり）した。

発注者別でみると、製造業（前年同月比55.1%増、寄与度+12.4）、その他（同237.2%増、寄与度+2.3）等が増加し、電気・ガス・熱供給・水道業（同40.6%減、寄与度-13.3）、運輸業（同33.0%減、寄与度-8.4）等が減少した。

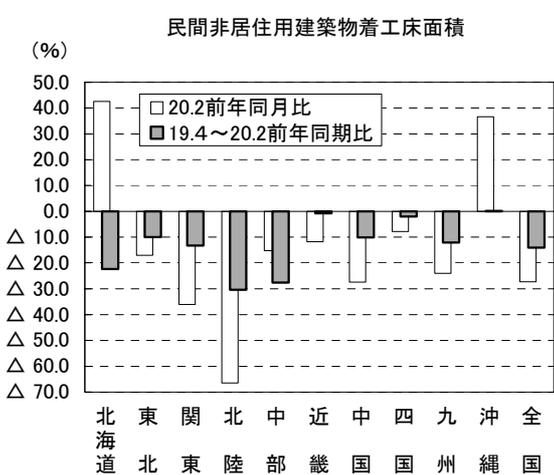
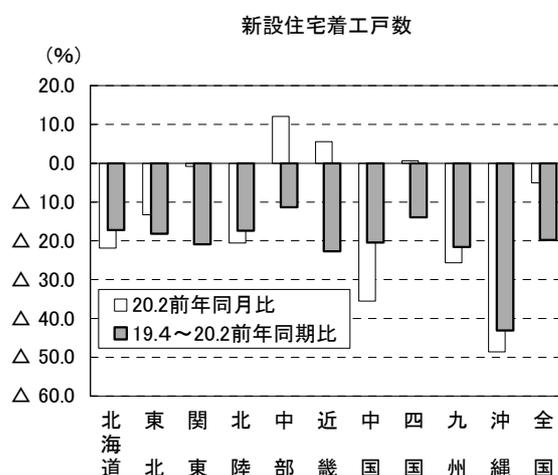
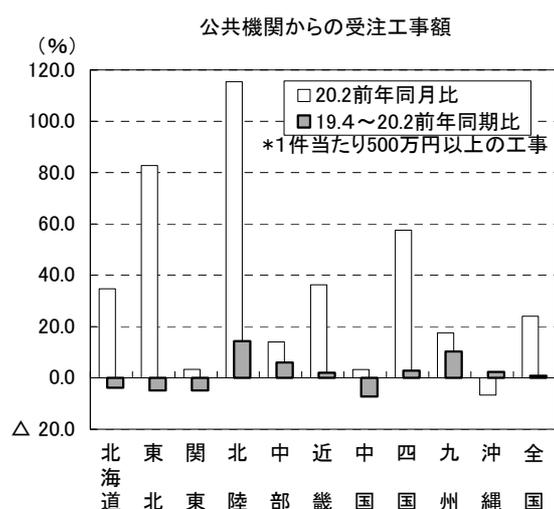
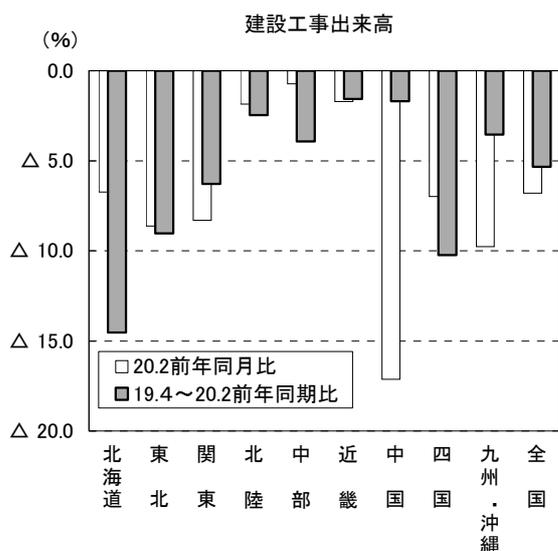
工事種類別でみると、機械装置等工事（寄与度+5.7）、土地造成・埋立工事（寄与度+2.7）等が増加し、鉄道工事（寄与度-9.6）、発電用土木工事（寄与度-5.7）等が減少した。



区分		(前年比・%)								
年度年月		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年	16年度	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9
	17	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9
	18	13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
年	17年	11.4	7.2	△ 11.6	92.2	36.5	13.6	34.9	22.0	△ 3.9
	18	15.4	17.2	23.8	9.0	△ 9.8	16.4	1.1	17.2	5.3
	19	17.3	85.4	20.4	△ 8.7	△ 2.7	△ 1.6	△ 6.5	8.6	31.5
次	19年2月	19.1	2.0	100.7	11.5	△ 51.7	32.5	△ 47.3	7.7	25.2
	3	23.1	1327.1	14.4	91.0	120.3	2.5	△ 38.4	32.9	6.9
	4	21.7	13.6	60.9	△ 43.7	49.8	△ 8.2	38.9	△ 3.9	43.2
	5	25.5	49.6	41.0	△ 71.3	△ 21.5	△ 2.1	3.3	△ 31.0	67.2
	6	35.9	304.2	19.9	△ 53.5	△ 23.6	10.6	30.5	40.6	55.5
	7	32.4	△ 40.5	29.3	△ 55.7	△ 43.4	12.1	△ 8.8	△ 4.4	72.3
	8	△ 10.4	100.6	△ 30.3	90.5	△ 36.6	△ 20.4	△ 3.7	△ 0.6	△ 19.0
	9	22.4	47.2	62.5	△ 61.5	42.2	△ 22.6	51.6	△ 9.3	18.0
	10	30.8	△ 17.7	△ 21.0	△ 15.3	△ 26.8	△ 14.9	△ 8.8	76.9	76.5
	11	△ 0.9	△ 23.3	△ 14.5	47.1	△ 28.7	△ 21.3	△ 6.7	△ 13.1	11.9
	12	4.1	△ 46.8	△ 12.6	104.6	△ 16.9	△ 12.9	△ 4.5	13.4	61.1
	20年1月	26.8	7.0	7.1	△ 20.1	△ 19.1	△ 9.8	4.6	△ 3.8	53.0
2	△ 5.1	△ 84.2	△ 41.9	128.4	294.6	△ 22.3	51.8	△ 10.2	14.2	
累計	4月～2月	15.7	0.5	4.1	△ 16.2	△ 3.4	△ 9.0	13.2	3.7	37.8

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(6) 地域別動向



区分	出来高		受注・着工			企業	雇用			
	建設 工事 出来高	公共機関 受注	新設 住宅	民間非 居住用 建築物	民間等 受注 (土木・機械)	建設業 倒産 件数	建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値)		有効求人 倍率 (季調済)	
							2月		2月	
	4月~2月	4月~2月	4月~2月	4月~2月	4月~2月	4月~3月	%	前年差	倍	前月差
前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
北海道	△ 14.5	△ 3.8	△ 17.2	△ 22.4	71.6	22.2	△ 0.2	0.5	0.49	△ 0.09
東北	△ 9.0	△ 4.9	△ 18.2	△ 10.0	△ 2.4	11.4	△ 1.9	△ 0.7	0.69	△ 0.00
関東	△ 6.3	△ 4.9	△ 20.9	△ 13.3	25.0	5.6	△ 2.0	△ 5.3	1.15	0.01
北陸	△ 2.5	14.4	△ 17.4	△ 30.3	21.6	21.4	△ 1.5	△ 0.8	1.11	△ 0.03
中部	△ 3.9	6.0	△ 11.4	△ 27.6	40.7	2.2	△ 0.7	△ 1.7	1.50	△ 0.02
近畿	△ 1.6	2.1	△ 22.7	△ 0.8	36.6	23.5	△ 2.4	△ 3.3	0.96	0.00
中国	△ 1.7	△ 7.3	△ 20.4	△ 10.1	△ 17.9	9.7	△ 0.8	△ 1.9	1.08	0.02
四国	△ 10.2	2.8	△ 14.0	△ 2.0	71.6	24.4	△ 0.4	△ 0.7	0.84	△ 0.03
九州	△ 3.6	10.3	△ 21.6	△ 12.1	44.5	29.6	0.3	△ 1.7	0.68	0.00
沖縄	—	2.3	△ 43.1	0.1	73.3	△ 17.2	0.7	△ 0.7	0.41	0.00
全国	△ 5.3	0.8	△ 19.7	△ 14.1	15.7	10.5	△ 1.2	△ 1.8	0.97	△ 0.01

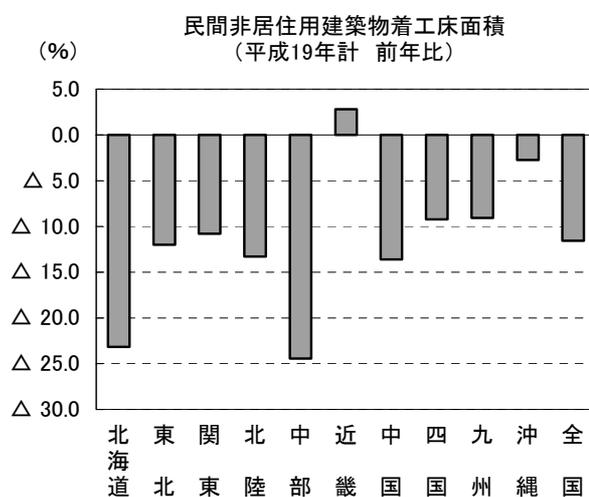
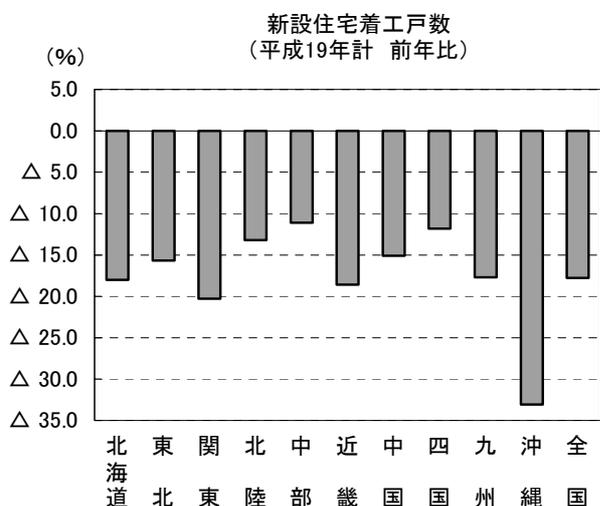
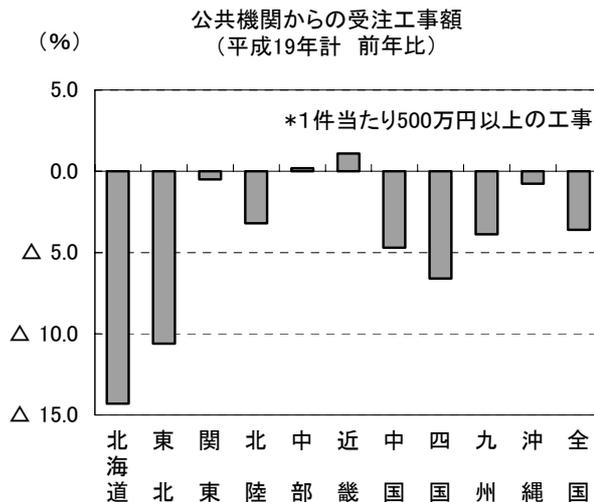
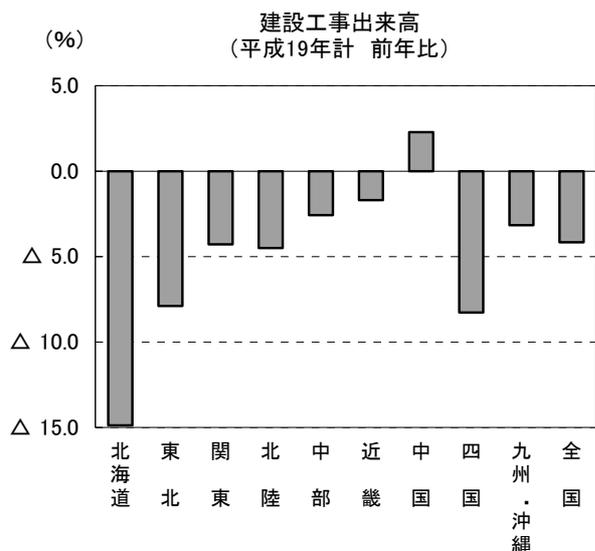
資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、

帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。

建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。

雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。



区分 地域	出来高		受注・着工		
	建設 工事 出来高	公共機関 受注	新設 住宅	民間非 居住用 建築物	民間等 受注 (土木・機械)
	平成19年計 前年比 (%)				
北海道	△ 14.9	△ 14.3	△ 18.0	△ 23.2	28.8
東北	△ 7.9	△ 10.6	△ 15.7	△ 12.0	29.2
関東	△ 4.3	△ 0.5	△ 20.3	△ 10.8	7.7
北陸	△ 4.5	△ 3.2	△ 13.2	△ 13.3	23.7
中部	△ 2.6	0.2	△ 11.1	△ 24.4	△ 1.1
近畿	△ 1.7	1.1	△ 18.6	2.8	24.4
中国	2.3	△ 4.7	△ 15.1	△ 13.6	8.3
四国	△ 8.3	△ 6.6	△ 11.8	△ 9.2	58.5
九州	△ 3.2	△ 3.9	△ 17.7	△ 9.1	31.6
沖縄	—	△ 0.8	△ 33.1	△ 2.7	254.7
全国	△ 4.2	△ 3.6	△ 17.8	△ 11.6	17.3

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」
注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。